

マンガを用いた読解指導による混成型テキストの読解力の向上

後藤安矢華

PISA 調査の結果から、図や文章が組み合わさった混成型テキストの読解力が低いことが指摘された。混成型テキストの読解にはグラフや図と文章を関連付ける読みが必要であるということから、グラフや図などを用いた読解指導が行われてきた。しかし、これまでの読解指導は扱う図や表が児童にとって馴染みなく、取り組みにくいという課題が挙げられてきた。これに対して、マンガも絵とセリフが組み合わさった混成型テキストとして捉えることができるとされていると同時に、マンガは児童にとって身近なものである。しかし、これまで混成型テキストの読解力向上にマンガを用いた読解指導の研究はされてきていない。そこで本研究は、マンガを用いた読解指導を考案し混成型テキストの読解力の向上に効果があるのか明らかにすることを目的とする。

本研究では小学4年生から6年生19人を対象に、マンガの絵とセリフを関連付けるという混成型テキストの読解に必要な読みを定着させる3つの読解指導を行った。読解指導1では、セリフと絵を切り離して提示し、セリフにどのような絵が入るのかを考えさせた。読解指導2では絵のみの4つの選択肢からセリフに合うものを選択させると同時に、マンガの記号の意味を見るように促し、絵からセリフの関連付けを行った。読解指導3では絵とセリフが不適切なコマを提示し修正させることで、絵とセリフ両方から関連づける読解指導を行った。また、読解指導の前後に新聞を用いた混成型テキストの読解力を問うテストを10問を20分間で解いてもらった。混成型テキストのテストでは、新聞から図やグラフを抜いたものを用意し、どのグラフや図が新聞の空白に適切か選択してもらった。学年によって学習していないグラフや図の種類がある場合を考慮し、グラフや図についての説明が書かれた紙を用意した。実験中は音声の録音を行い、前後のテストの結果とその解き方からマンガによる読解指導が混成型テキストの読解力の向上に効果があるのか分析した。

テスト1とテスト2は以下の結果となった。テスト1では平均点が2.4点でテスト2では4.3点という結果になった。t検定を行った結果、得点が有意に向上したことが分かった。テスト1に比べテスト2で、グラフや図の説明を読むようになったということから、マンガを用いた3つの読解指導の中でも、読解指導2の取り組みがテスト2でグラフや図の説明を読むという行動につながり、点数を向上させた可能性がある。

本研究より、マンガを用いた読解指導が混成型テキストの読解力の向上に効果があることが明らかとなった。マンガは児童にとって親しみやすいため読解指導に取り組みやすい。マンガを用いた読解指導は混成型テキストの読解力だけでなく、読解指導の方法によっては別の読解力の向上にも期待することができる。今後の課題は、読解指導の様子を分析し、読解指導のどの部分がテストの読み方に影響を与えたのかを明らかにすることである。これにより、混成型テキストの読解力だけでなく、他の読解力を向上させるためのマンガを活用した読解指導の方法を考案することが可能となる。

(指導教員 松村敦)